

題名：令和3年度桐生市景観講演会 「ランニング風景学」～私を世界へ導いた桐生の街と山々～

桐生市では、景観行政団体になった平成25年以降、景観形成に関わる様々な取り組みを実施しており、そのひとつとして、多くの方に景観を意識し考えていただく機会となるよう、景観講演会を開催しております。残念ながら、令和元年度と令和2年度はコロナ禍で中止となりましたが、4回目となる今回、桐生市出身プロトレイルランナーの鍋木毅さんを講師に迎え、3月21日（月・祝）に桐生市立中央公民館市民ホールにてご講演いただきました。また、初の試みとしてYouTubeにて生配信・見逃し配信も行いました。

また、講演会の関連イベントとして、「鍋木毅 パネル展」と題し、世界最高峰のトレイルレースの写真や動画・大会出場時の装備などを市役所市民サロンにて1月12日～2月7日に展示し、当日も会場前のホワイエにて展示しました。併せて、桐生市の景観の取り組みも紹介しました。会場は連日多くの方で賑わい、鍋木さんの写真とともに、景観まちづくりを感じていただく機会となりました。

さて、講演会ではまず「市の取り組み」を説明し、景観形成のポイントなどをお伝えし、私たちにできる3つのことをお願いしました。

- ① 桐生に暮らし、桐生らしさを守り、桐生らしさを後世に受け継いでいきましょう。
- ② 景観はちいさな一つ一つの積み重ねです。生活の中で意識しましょう。
- ③ 後世に受け継ぐ「地域の景観」はどうあったらいいのか、一人一人が意識し、興味を持ち、理解しましょう。

次に、「ランニング風景学」～私を世界へ導いた桐生の街と山々～と題し、トレイルランニングというスポーツを選んだ経緯や努力してきた過程、30か国以上の世界の舞台で戦われた経験から世界の都市景観や山岳景観、鍋木さんの土台となった桐生の魅力ある景観についてお話いただきました。

子どものころ見た田園風景、憧れをもって見た桐生の街並、そういった景観が自分に「世界に羽ばたきたい、大自然を走りたい」というインスピレーションをすごく生んでくれた。住んでる人から見れば「いつものなんとなく」の風景でも、一回リセットして見るとすごくいい街だとさらに思える。吾妻山から見る桐生の美しさ、この魅力は守っていくべきだと、トレイルランニングの世界を通して景観まちづくりについて多角的にお話しいただき、多くの方が景観を身近に感じていただくきっかけとなる、楽しい講演会になりました。

また、講演会後は、隣接の新川公園にて、ランニングセミナー～風景を楽しもう！レベルアップを目指そう！～と題し、トレーニングの方法をご教授いただいたほか、桐生の街歩きについても紹介いたしました。

